# 球磨農業研究所

#### I 基本方針

球磨地域の水田地帯では、水稲、野菜、タバコ、畜産などが営農されている。畑台地では露地野菜、茶、落葉果樹などが導入され、生産性の高い大規模経営及び所得向上のための安定的複合経営の確立が求められている。

一方で、担い手の減少と高齢化に対応した省力化技術の開発や、新しい米・麦政策に対応 した水田利用の再構築、環境保全型農業に関する技術開発など、新たなニーズや問題に対応 する必要がある。

また、新規品目の導入による所得向上も図られており、安定生産のための技術確立が求められている。

このため、普及・行政・農業団体などの関係機関と密接な連携・協調を図りながら、球磨地域が直面する技術的課題を迅速・的確にとらえ、球磨地域特有の気象条件などに適応した茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合った高品質安定多収生産のための栽培技術の開発を行う。さらに、各専門研究所と連携し、省力・低コスト生産技術や新規品目の栽培技術の検討を行うとともに、新技術の普及・実用化のための応用組立実証を中心に試験研究を進める。

### Ⅱ 重要研究事項

#### 1 球磨地域に適した茶・落葉果樹の優良品種選定

国、県などで新たに育成された品種系統の中から、品質・栽培特性の両面で球磨地域に 適する茶、落葉果樹(早生モモ)の品種を選定し、栽培のための基礎的なデータを収集す る。

#### 2 中山間地活性化のための落葉果樹の栽培技術開発(果樹部門)

県内の最大産地であるクリについては、優良品種である「美玖里」の導入が進んでいる。 しかし、「美玖里」は、他品種に比べ樹勢が強く、若木期の枝が大きく徒長する傾向があ るが、その特徴に応じた栽培技術が確立していない。そこで、結果母枝数や摘芯処理の検 討を行い、「美玖里」の安定生産技術を確立する。

また、クリでは水田転換園への栽植が増加しているが、苗木の枯死や生育不良がみられる。そこで、排水対策が苗木の生育状況や収量に及ぼす影響について検討し、水田転換園への栽植技術を確立する。

一方、県内の主要産地であるモモについては、優良品種である「さくひめ」について、 トンネルハウス栽培での摘果方法や台木の違いによる若木の枯死症発生の軽減技術の検討 を行い高品質・安定生産技術を確立する。

#### 3 球磨地域におけるウリ類の安定生産技術の確立 (野菜部門)

球磨地域ではウリ類の生産が盛んであり、従来の主力品目であるメロンに加え、近年ではズッキーニの施設栽培も注目されるなど新たな展開もみられる。しかし、各品目とも課題を抱えている。メロンは、交配や収穫等が重労働であるため、高齢化に対応した省力化技術が求められている。そこで、省力化に寄与する効率的な栽植密度、整枝法を検討する。ズッキーニは、半促成栽培で3~4月に雄花が不足するため、この期間の収量が不安定となっている。露地栽培に比べて高収益な施設化を図るためには着果安定技術確立が急務である。

そこで、ウリ類の省力的かつ収量性を確保する栽培技術及び着果安定技術を確立し、更なる産地強化及び生産拡大を目指す。

## Ⅲ 試験研究課題一覧

【球磨農業研究所】

部	大課題	中課題	予算	小課題    試験期間
門	NIK/65	11111/05	金額 区分	,
茶・果樹・	1. くまもとの魅力を発 信できる新品種の開 発・選定	(1) 球磨地域に適した茶・落葉 果樹の優良品種選定	2,250 県革	① 球磨地域の機械化管理体系に対応した茶 優良品種の選定 「球磨農業研究所」「茶業研究所」 ② 球磨地域の施設栽培に適した早生モモ優 良品種の選定
野菜	2. 稼げる農業を目指し た革新的な生産技術 の開発	新規 (1) クリ (美玖里) の安定多収 および水田転換クリ園での 栽培技術開発	1,304 県革	① 「美玖里」の安定生産技術の確立       R6~R8         ② 水田転換栽植技術の確立       R6~R8
		新規 (2) モモ「さくひめ」の高品質・高収益果実生産に向けた栽培管理技術の開発(再掲)	1,305 県単	① 施設栽培における栽培管理技術の開発 R6~R8 ② 台木の違いによるモモ若木の枯死症発生 軽減技術の開発 「果樹研究所」、「球磨農業研究所」
		(3) 球磨地域におけるウリ類の 安定生産技術の確立	2,744 県革	① 半促成地這いメロンの効率的栽培技術の確立       R4~R6         ② 半促成栽培ズッキーニの安定生産技術確立       R4~R6
	3. 環境にやさしい農業 を推進する技術の開 発	(1) 果樹における未利用資源活 用による炭素貯留効果の検 証(再掲)	農業 令達技術課	① せん定枝のチップ施用による土壌炭素貯 R4~R6 留効果の検証 「果樹研究所」「球磨農業研究所」 ② せん定枝のチップ施用が樹体等に及ぼす R4~R6 影響 「果樹研究所」「球磨農業研究所」

注) 新規: 本年度から新たに取り組む課題

組替: 課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長:課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮: 課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題